

歴史学習の初めに 歴史の流れをとらえよう

本校の育成する資質・能力

知識・技能

思考力・判断力・表現力

主体性・協働性

- 1 日 時 令和2年6月26日(金)
- 2 学年・学級 1年B組(男子18名 女子17名 計35名)
- 3 場 所 1年B組教室
- 4 単元について

(1) 単元観

この単元は学習指導要領の歴史的分野の内容項目 A 歴史との対話(1)私たちと歴史 にあたり、歴史的分野の学習の導入として位置づけられている。

ここでは、私たちと歴史課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解すること。

(イ) 資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(ア) 時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、小学校での学習を

こうした力の育成を通して、生徒が過去を継承しつつ、現在に生きる自身の視点から歴史に問いかけ、歴史的分野の学習を通して、主体的に課題を追求する態度を養い、今後の歴史学習を深める原点とする。

(2) 生徒観(調査結果等から見る課題)

本学級の生徒は、授業でも意欲的に参加する生徒が多くみられる。積極的な発表ができるかという質問に対しては肯定的評価が多くみられる。実際は自分から進んで手を挙げ発表できる生徒は限られるが、求めれば自分の意見をきちんと発表できる生徒は多い。歴史に対しても好きだと答える生徒が多い一方、歴史用語の多さに苦手意識を感じている生徒も多い。

また本学年生徒から入試制度も変わり、資料をもとに考察する力、自己表現の力がより一層が求められるようになっている。「資料の読み取りが得意である」「考えを文章にまとめるのは得意である」という質問に対しては中間層が多く、強い自信をもっている生徒は限られている現状がある。

| 4月はじめのアンケート(小学校まで) | よく当てはまる | 少し当てはまる | あまり当てはまらない | 当てはまらない | 肯定評価 |
|---------------------|--|---------|------------|---------|------|
| ①授業はよくわかる。 | 47% | 35% | 15% | 3% | 82% |
| ②授業は楽しい。 | 35% | 35% | 29% | 0% | 70% |
| ③歴史は好きである。 | 29% | 38% | 26% | 7% | 67% |
| ④地理は好きである。 | 29% | 32% | 26% | 12% | 61% |
| ⑤積極的に意見が発表できる。 | 12% | 61% | 18% | 9% | 73% |
| ⑥資料の読み取りが得意である。 | 27% | 48% | 21% | 3% | 75% |
| ⑦課題に対して考えることは好きである。 | 22% | 41% | 25% | 0% | 75% |
| ⑧考えを文章にまとめるのは得意である。 | 13% | 48% | 32% | 6% | 61% |
| ⑨歴史が苦手だと感じる理由 | 単語(漢字)を覚えるのが難しい。 人物や出来事がたくさん出てきて覚えきれない。 | | | | |
| ⑩歴史が好きな理由 | 探れば探るほど真実が見えて面白い。 昔の人の様子を知るのがおもしろい。 驚く部分やなるほどと思う部分が多い。 人から学ぶことがたくさんある。 昔の人の努力があったから今があるから。 その人物の性格が表れるから。 | | | | |

(3) 指導観 (指導改善のポイント)

本単元で重視したいことは、歴史学習が私たちの生活に与える影響や意義について考察し、これからの歴史学習に必然性をもたらす、学習意欲を湧かせることである。そのために生徒の特性に合わせて目的の達成に迫りたい。既存知識の身につけている生徒は、その知識を生かしながら、その歴史的内容が私たちに何を伝えているかという意義に踏み込んでいく。苦手意識を持っている生徒に対しても、少人数での協働学習を行うことでこれまでの知識の習得不足をカバーし、思考活動の手助けを行う。また、ジグソー形式の調査と発表を行うことで、自己有用感を高めるとともに、より多くの考えに触れることで自身の考えを深めることを目指したい。

また、資料読み取りの「技能」、考えを文章にまとめる「思考力・表現力」に自信がない生徒のために、本単元では小学校の教科書を用いて、資料から要点を抜き出す技能を育てたい。また、自分の考えをワークシートにまとめ発表する活動、自分とは異なる他者の考えに触れる活動を通して、思考力・表現力をはぐくみたい。

また、今後の歴史学習の中で、思考・判断・表現力を磨いていくために、その源泉となる学習意欲をいかにしてひきだすかが求められる。本単元の学習活動を通して、歴史から学んだことが自分たちの人生に活かせることに気づかせ、今後の歴史学習への意欲を高めたい。

単元の目標

- ・歴史的分野の学習を始めるにあたって、歴史を学習する意義について考え、これからの社会に生かそうとしている。【学びに向かう人間性】
- ・年代の表し方や時代区分について基本的な内容を理解し、読み取ることが出来る。【知識・技能】
- ・小学校で学習した歴史上の人物や出来事、文化遺産について、振り返ったりまとめたりする活動を通して歴史の大きな流れや時代の特色を考察し、その課程や結果を適切に表現することが出来る。
【思考・判断・表現力】

本校で育成を目指す資質・能力と評価規準との関わり

| 資質・能力 | 本校が育成を目指す資質・能力 | 本校が育成を目指す資質・能力を身に付けさせるための手立て |
|-----------------------------|----------------|---|
| 社会的な事象への 関心・意欲・態度 | 主体性・協働性 | <ul style="list-style-type: none"> ・歴史を学ぶ意義を考えることで学びの必然性を感じさせる。 ・グループ学習を行うことによってねらいの到達を目指す。 |
| 社会的な 思考・判断・表現 | 思考・判断・表現 | <ul style="list-style-type: none"> ・ジグゾー形式を用いて、それぞれの内容ごとに発表することで表現力を養う。 ・他者の考えに触れることで自分の考えを深める。 |
| 資料活用の技能 社会的な事象についての知識・理解 | 知識・技能 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の教科書を準備し、視覚的にもわかりやすく既存知識を確認させる |

単元の評価規準

| 社会科の学びに向かう力・人間性 | 社会的な 思考・判断・表現 | 社会的な事象についての 知識・技能 |
|---|--|--|
| 歴史を学習する意味について考え、歴史学習を通して過去から受け継がれた経験などを学ぶだけでなく、これからの社会に生かそうとしている。 | 歴史上の人物、出来事などについて考える活動を通して、日本の歴史の大きな流れや時代の特色を考察し、その課程や結果を適切に表現している。 | 時代の大きな移り変わりに気づき、年代の表し方や時代区分についての基礎的な内容を理解し、読み取る技能を身につけている。 |

指導と評価の計画

| 次 | 学習内容 | 評 価 | |
|-----------|--------------|-----------------------------|---|
| | | 観点 | 評価規準（評価方法） |
| 1 (本時) | 歴史を学ぶにあたって | 学びに向かう力・人間性 思考・判断・表現 | 歴史学習を通して過去から受け継がれた経験を、これからの社会に生かそうとし、歴史を学習する意味を深めようとしている。 小学校の学習を踏まえ、歴史的人物や出来事のもつ意義を評価し、まとめることができる。 (ワークシート, 振り返りカード) |
| 2 | 歴史をはかるものさし | 知識・技能 | 年代の表し方や時代区分についての基本的な事項を理解し、大きな時代の移り変わりに気づいている (ワークシート, 振り返りカード) |
| 3 | 歴史のながれを振り返ろう | 知識・技能 | 小学校の学習内容を時代区分など大きな歴史の流れに沿って整理することができる。 (ワークシート, 振り返りカード) |

本時の学習

(1) 本時の目標

歴史を振り返ることを通して、過去から受け継がれた経験から学べることを考え、これからの社会に生かそうと表現することで、歴史を学習する意味を深める。(学びに向かう力・人間性 / 思考・判断・表現力)

(2) 観点別評価規準

| A | B | C |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・小学校で習った歴史を振り返り、その歴史の善悪を、理由をつけて判断できる。 ・過去の経験をこれからの社会に生かそうとする考えを表現することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校で習った歴史について振り返り、その歴史の善悪を、理由をつけて判断できる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校で習った歴史について振り返ることができている。 |

(3) 準備物

小学校の教科書、ワークシート、電子黒板、ホワイトボード

(4) 学習の展開

| | 学習活動 | ◇指導上の留意事項 ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手だて | 評価規準 (評価方法) |
|----|----------------------|--|----------------|
| 導入 | ① 手塚治虫の「火の鳥」の漫画を見せる。 | ◇「歴史は繰り返す」ということを印象づける ◇歴史は「人」がつくることを確認する。 | 行動観察 |

| | | | |
|---|---|--|----------------------------|
| | <p>② なぜ同じことが起きてしまったかを考える。</p> <p>③ めあての提示</p> | <p>◇生徒の発言から「過去の失敗を知ろうとしなかったから」という点を取り上げる。</p> <p>◇「よい歴史」は繰り返したほうがいいが、「悪い歴史」は繰り返さないようにしていくべきであることを確認する。</p> | |
| <p>本時のめあて 過去の経験を振り返って、歴史から学べることは何か考えよう。</p> | | | |
| <p>展開①</p> | <p>④ 小学校で学習した歴史的 content から班で一つを選ぶ。</p> <p>選択肢</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>例 中国との戦争 昭和時代</p> <p>1 聖徳太子の政治 飛鳥時代</p> <p>2 元の大軍が攻めてくる 鎌倉時代</p> <p>3 今に伝わる室町文化 室町時代</p> <p>4 人々のくらしと身分 江戸時代</p> <p>5 板垣退助から始まった運動 明治時代（前半）</p> <p>6 日清・日露戦争 明治時代（後半）</p> <p>7 太平洋戦争 昭和時代</p> <p>8 急速な経済の成長による影響 昭和（戦後）</p> <p>9 自然災害を「乗り越えた人々」 平成</p> </div> <p>⑤歴史的事項の内容の要点をまとめる。【個人】</p> <p>⑥その歴史的事項は「よい歴史」か「悪い歴史」か判断し、その理由を書く。【個人】</p> | <p>◇4人班での活動とする。（9グループ）</p> <p>◇小学校の教科書を使用し、その中から必要だと思う情報に線を引く。</p> <p>◆要点を穴埋めする形式にすることで、生徒のつまづきを防ぐ。</p> <p>◆教師が一つ例をあげて説明することで、書き方のイメージが湧きやすいようにする。</p> | <p>行動観察</p> <p>ワークシート</p> |
| <p>展開②</p> | <p>⑦4人班で⑤について確認をする。</p> <p>⑧ ⑥について班としての意見をまとめる。</p> <p>⑨班ごとに発表する</p> | <p>◇⑥について、班でホワイトボードに意見をまとめる。</p> <p>◆あらかじめ班の中で役割を決めておく。（司会／書記／発表）</p> <p>◇⑤については、電子黒板を使い調査した班以外の生徒も内容を迅速かつ、確実に振り返られるようにする。</p> | <p>行動観察</p> <p>ホワイトボード</p> |

| | | | |
|--|--|---|------------------------------|
| | | ◇⑥については、黒板掲示し、あとから振り返られるようにする。 | |
| 振り返り | <p>⑩歴史的事項から学んだことがどんな場面に出会ったときに、どのように生かせるか考える。【個人】</p> <p>⑪数名に発表させる</p> <p>⑫この授業の振り返りを行う。</p> | <p>◇正解があるわけではないので、自由な記述を促す。</p> <p>回答例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代のように身分の差で差別をしてはいけないと思った。 今も黒人や障害者への差別などが残っているの、差別を許さないようにしていきたい。 <p>◇机間指導により確認し、説得力のあるものを全体に紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆他者の意見に触れることで、自分では気づかない視点に触れ、個人の考えを深めさせる。 <p>◇振り返りシートに記入する。</p> | <p>ワークシート</p> <p>振り返りシート</p> |
| <p>○生徒の振り返り例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史からいいことも悪いことも学べることが分かった。 ・日本は歴史から学んでいかないといけないと思った。 ・歴史は、自分たちの生活にも関係があるんだと思った。 ・これからの生活にいかすためにも歴史を学びたいと思った。 | | | |

歴史を学ぶ意味を深めよう！

() 組 () 番 () グループ 名前 ()

1 聖徳太子の政治 飛鳥時代

① どんな政治だったの？

- (1) 国づくりには () が必要だと考え、() 送った。
- (2) 冠位十二階を定め、() して
- (3) 十七条の憲法で役人の心構えを示した。

② この歴史は (よい 悪い) 歴史です。

③ なぜそう思いましたか？

自分の考え

「なるほど」と思った考え

④ この出来事から学んだ、これからの生活にいかせることはなんですか？
どのような場面で、どう生かしていきますか。

自分の考え

「なるほど」と思った考え

資料 聖徳太子の政治 飛鳥時代



しやうとくだいし
聖徳太子の国づくり 天皇の子として生まれた聖徳太子は、20才のときに天皇の政治を助ける役職につきました。そのころの日本は、ごうぞく豪族がたがいに争い、天皇は、したが豪族を従えるのに苦勞していました。聖徳太子は、当時大きな力をもっていた蘇我氏とともに天皇中心の新しい国づくりにあたりました。

そのころ中国では、ちゆうごく長い間南北に国が分かれて争っていましたが、589年に隋が中国を統一しました。隋では、こうてい皇帝を中心とした政治のしくみが整い、文化も栄えていました。聖徳太子は、新しい国づくりのために、進んだ制度や文化、学問を取り入れることが必要だと考え、おののいもこ小野妹子らを送りつけ、けんずいし使者として隋に送りました（遣隋使）。

十七条の憲法（一部）

第1条 人の和を第一にしなければなりません。

第2条 仏教をあつく信仰しなさい。

第3条 天皇の命令は、必ず守りなさい。

第12条 地方の役人が勝手に、みつぎ物を受け取ってははいけません。

↑ ⑤ 十七条の憲法 政治を行う役人の心構えなどが書かれてあり、聖徳太子の政治の理想がわかります。

いえがら 家柄にこうせき関係なく能力や功績で役人を取り立てました。そして政治を行う役人の心構えを示すために、じゅうしちじょう 十七条の憲法を定めました。また、けんぼう 仏教をあつく信仰していた聖徳太子は、ほうりゅうじ 法隆寺などを建てて、しんこう 仏教の教えを人々の間に広めようとしてしました。

しかし、聖徳太子は、豪族の力を十分におさえることができず、622年に49才でなくなりました。



「聖徳太子の国づくりの考えは、この後だれかに受けつがれていくんじゃないかな。」



「受けつぐとしたら、だれがどのように受けついでいったのかな。」

9 板書計画

めあて

過去の経験から学べることを探し、
これからの歴史学習の意味を深める。

歴史は繰り返す

歴史は人がつくる

よい歴史

| | | | |
|----|----|----|----|
| 内容 | 内容 | 内容 | 内容 |
| 理由 | 理由 | 理由 | 理由 |

悪い歴史

| | | |
|----|----|----|
| 内容 | 内容 | 内容 |
| 理由 | 理由 | 理由 |
| 内容 | 内容 | |
| 理由 | 理由 | |

電子黒板

パワーポイント使用。別紙参照

これからの生活に活かせること

- ・差別をなくすこと
- ・自分勝手な行動をしないこと
- ・人が困っているときには助けること
- ・約束を守ること

まとめ

過去の経験から私たちはさまざまなこ
とを学び、これからの生かしていくこ

これからの歴史学習

がんばりましょう！！